

株式会社ミツバ
2024年3月期 第2四半期決算
補足資料
(証券コード：7280)

2023年11月8日（水）

（単位：億円）

【第2四半期決算のポイント】

- 半導体供給の改善による自動車生産の回復を背景とした販売増に加え、為替影響もあり増収・増益。

四輪事業：中国エリアは日系自動車メーカーの販売低調が続いているものの、日本や米国エリアでは販売が回復傾向。

二輪事業：アジアエリアにて引き続き二輪事業が好調に推移。

- 円安に伴い為替差益が13億円発生し、現預金、為替換算調整勘定等が増加。
- FCFは業績の改善等を背景に、前年同期比46億円の増加。

連結	前年同期	当期実績	増減額
売上高	1,530	1,660	129
営業利益	4	69	65
経常利益	19	85	65
当期利益	▲9	45	54

連結	前期末	当期実績	増減額
現預金	757	853	95
棚卸資産	594	578	▲15
有利子負債	1,704	1,705	1
自己資本比率	20.3%	24.4%	4.0%
NET D/Eレシオ	1.4	1.0	▲0.4

連結	前年同期	当期実績	増減額
営業CF	75	140	64
運転資本	▲17	16	34
投資CF	▲41	▲59	▲17
設備投資	▲40	▲47	▲7
FCF	33	80	46

I. 2024年3月期 第2四半期決算

II. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. トピックス

V. Appendix

I. 2024年3月期 第2四半期決算（連結業績）

半導体供給の改善による自動車生産の回復を背景とした販売増に加え、為替影響もあり増収・増益
また、円安による為替差益13億円の計上により経常利益・当期利益ともに増益

(単位：億円)

	23年3月期 2Q	24年3月期 2Q	増減額	前年同期比
売上高	1,530	1,660	129	108.5%
営業利益	4	69	65	17.3倍
営業利益率	0.3%	4.2%	-	+3.9pt
経常利益	19	85	65	4.5倍
税引前利益	18	82	64	4.6倍
当期利益(※)	▲ 9	45	54	-

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)

(単位：億円)

4~9月平均為替レート

(単位：円)

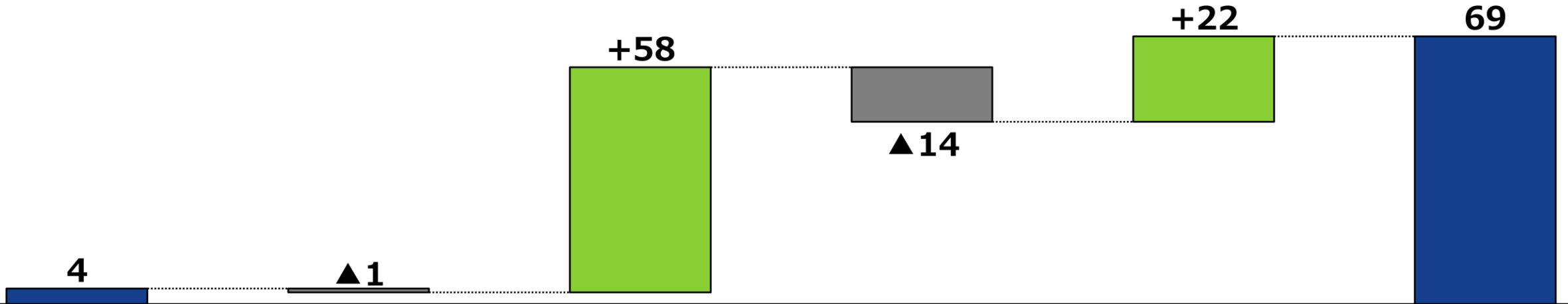
通貨	23/3月期 2Q	24/3月期 2Q
USD	134.04	141.07
EUR	138.82	153.51
CNY	19.88	19.75

通貨	為替感応度	
	売上	営業利益
USD	5	1
EUR	1.5	0.5
CNY	33	11

営業外収支 内訳	営業外収益	32
	営業外費用	▲16
経常利益 以下内訳	特別損益	▲2
	法人税等	▲27
	非支配株主に帰属する当期純利益	▲9

営業利益増減要因（前年同期比）

（単位：億円）



23/3/2Q
営業利益

※為替変動

付加価値

人件費

経費

24/3/2Q
営業利益

日本エリア	+26	賃上げ・その他	▲14	物流費の減少	+20
米州エリア	+14			減価償却費の減少	+4
欧州エリア	+8			電力料の増加	▲1
アジアエリア	+19			その他	▲1
中国エリア	▲18				
連結調整(未実現利益等)	+9				
内、価格改善	+27				

I. 2024年3月期 第2四半期決算 (セグメント別業績)

(単位：億円)

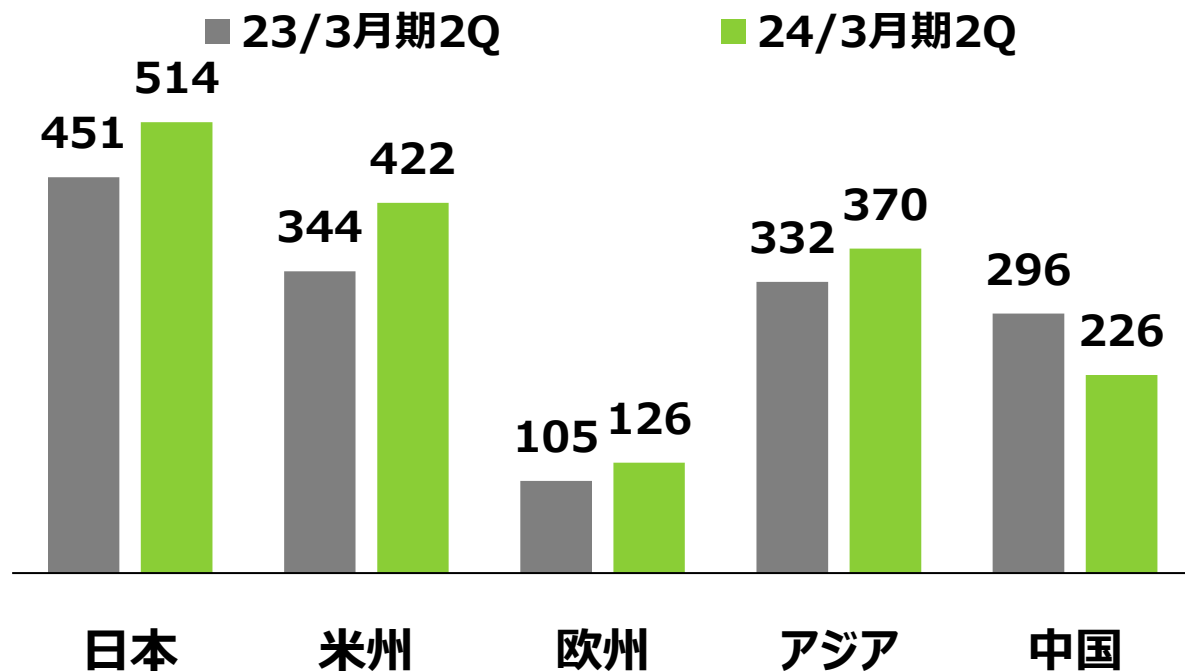
	23年3月期 2Q			24年3月期 2Q			営業利益 増減額 (B-A)	営業利益 前年 同期比 (B/A)
	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	1,435	▲4	▲0.3%	1,561	59	3.8%	63	-
情報サービス事業	68	5	8.6%	75	8	10.9%	2	140.0%
その他事業	25	2	9.0%	22	1	8.9%	▲0	85.2%
調整額	-	0	-	-	0	-	▲0	-
合計	1,530	4	0.3%	1,660	69	4.2%	65	-

輸送用機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 四輪事業・・・中国エリアは日系自動車メーカーの販売低調が続いているものの日本や米国エリアでは販売が回復傾向 二輪事業・・・アジアエリアにて引き続き二輪事業が好調に推移
情報サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・警察・ガス事業者向けのシステム販売や、車載系組込ソフトウェア開発支援業務、製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスなどが堅調に推移したことから増収・増益
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> 市販事業において、主に用品販売事業の低迷により減収・減益

日本・米州エリアは販売が回復傾向、アジアエリアは引続き二輪事業が好調に推移
中国エリアは日系自動車メーカーの販売低調により減収・減益

【エリア別売上高】

(単位：億円)

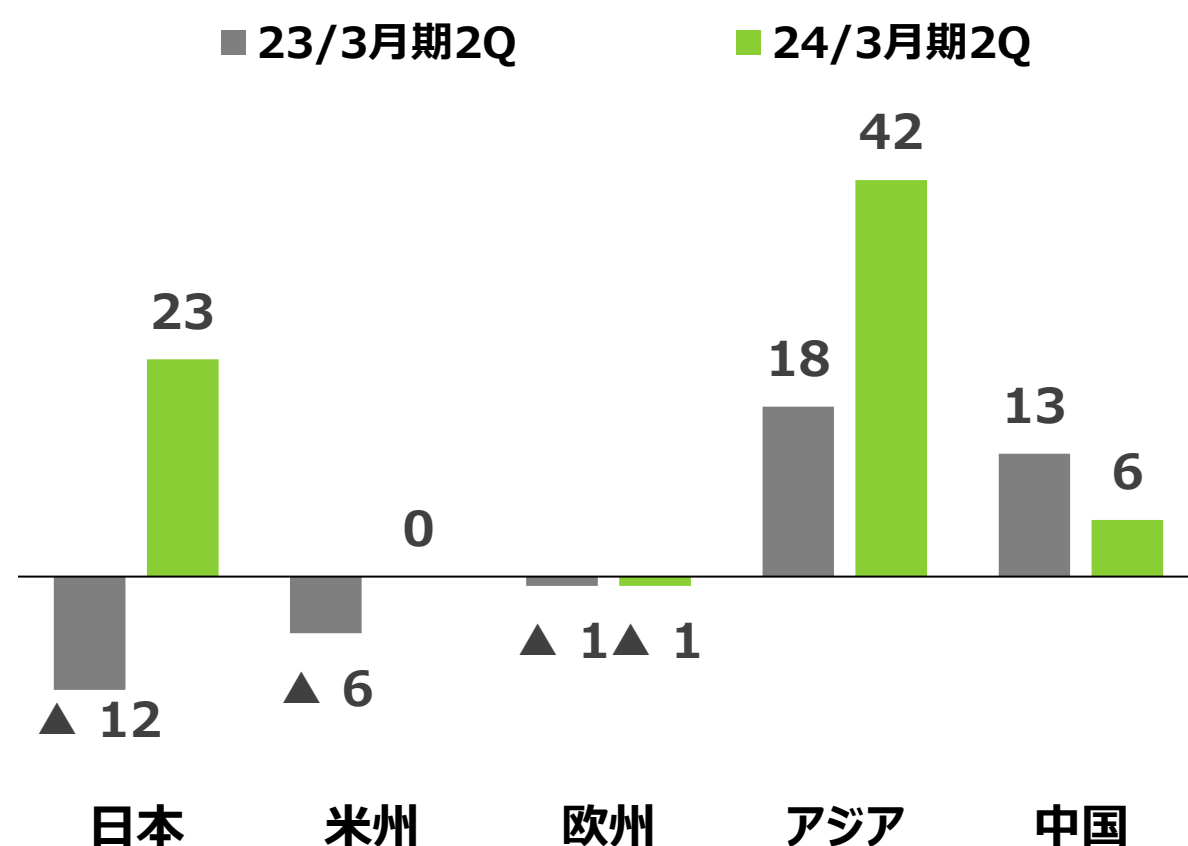


(前年同期比 増減率)

+14.0% +22.4% +20.0% +11.4% ▲23.6%

【エリア別営業利益】

(単位：億円)



(前年同期比 増減額)

+35 +6 ▲0 +23 ▲6

(単位：億円)

I. 2024年3月期 第2四半期決算 (顧客別売上高)

	23年3月期 2Q		24年3月期 2Q		増減額	前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比		
ホンダ	606	40.5%	626	38.4%	+20	103%
四輪	310	20.7%	286	17.5%	▲24	92%
二輪	296	19.8%	340	20.9%	+44	115%
RNM	104	7.0%	131	8.0%	+27	126%
SUBARU	44	2.9%	51	3.1%	+7	116%
スズキ	42	2.8%	48	2.9%	+6	114%
マツダ	29	1.9%	42	2.6%	+13	145%
VW グループ	35	2.3%	47	2.9%	+12	134%
トヨタ グループ	13	0.9%	15	0.9%	+2	115%
TierN	420	28.0%	444	27.2%	+24	106%
その他	205	13.7%	226	13.9%	+21	110%
合計	1,498		1,630		+132	109%

※RNM：ルノー、日産自動車、三菱自動車

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致しておりません。

I. 2024年3月期 第2四半期決算（事業別売上高）

（単位：億円）

	23年3月期 2Q		24年3月期 2Q		増減額	前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比		
四輪	931	62.1%	987	60.6%	+56	106%
二輪	387	25.8%	443	27.2%	+56	115%
電動化ソリューション	181	12.1%	200	12.2%	+19	110%
合計	1,498		1,630		+132	109%

※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません。

I. 2024年3月期 第2四半期決算（連結貸借対照表）

(単位：億円)

		23年 3月末	23年 9月末	増減額			23年 3月末	23年 9月末	増減額
流動資産	現預金	757	853	95	負債	仕入債務	203	239	35
	売掛債権	510	586	75		その他	506	487	▲18
	棚卸資産	594	578	▲15		有利子負債(※)	1,704	1,705	1
	その他	119	109	▲9			2,414	2,432	17
流動資産		1,981	2,128	146	株主資本	590	627	37	
固定資産	有形固定資産	936	958	21	包括利益累計	77	225	147	
	無形固定資産	36	35	▲1	自己資本合計	667	853	185	
	その他	328	379	50	非支配株主持分	201	215	13	
	固定資産	1,302	1,373	70	純資産合計	869	1,068	199	
資産合計		3,284	3,501	217	負債・純資産合計	3,284	3,501	217	

為替レート (単位：円)

通貨	23年3月末	23年9月末
USD	133.54	149.58
EUR	145.81	158.00
CNY	19.42	20.50

(※) 借入金 + 社債 (リースは含まない)

指標	23年3月末	23年9月末
自己資本比率	20.3%	24.4%
ネットD/Eレシオ	1.4	1.0

I. 2024年3月期 第2四半期決算 (連結キャッシュフロー)

(単位：億円)

		23年3月期 2Q	24年3月期 2Q	増減額
営業活動 CF	税引前当期純利益	18	82	64
	減価償却費	84	81	▲ 3
	売上債権の増減 (▲は増加)	▲ 21	▲ 25	▲ 3
	棚卸資産の増減 (▲は増加)	30	58	28
	仕入債務の増減 (▲は減少)	▲ 25	▲ 16	9
	その他	▲ 10	▲ 40	▲ 29
	合計	75	140	64
投資活動 CF	固定資産取得による支出	▲ 40	▲ 47	▲ 7
	その他	▲ 1	▲ 11	▲ 10
	合計	▲ 41	▲ 59	▲ 17
FCF		33	80	46
財務活動 CF	借入金の増減 (▲は減少)	▲ 23	▲ 16	7
	その他	▲ 18	▲ 26	▲ 8
	合計	▲ 42	▲ 43	▲ 0
為替換算等		41	39	▲ 1
現金・現金同等物増減 (▲は減少)		32	77	44

I. 2024年3月期 第2四半期決算

II. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. トピックス

V. Appendix

Ⅱ. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

半導体供給の改善により自動車生産が増加し、四輪事業の売上は回復基調、ならびに二輪事業は引続き好調に推移。経費面では、物流費を中心とした削減により営業利益は増加
加えて円安が進んだことにより、為替差益13億円を計上したことから経常利益・当期利益ともに増加し
前回発表予想を上回った

(単位：億円)

	上期予想	24年3月期 2Q	増減額	前年同期比
売上高	1,600	1,660	60	103.8%
営業利益	60	69	9	116.3%
営業利益率	3.7%	4.2%	-	0.5pt
経常利益	65	85	20	131.3%
当期利益(※)	30	45	15	150.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

為替レート (単位：円)

通貨	予想	24/3月期 2Q
USD	120.00	141.07
EUR	135.00	153.51
CNY	18.00	19.75

【2024年3月期の連結業績予想】

中国エリアでの販売動向が不透明であることや、今後の為替変動の影響が見通せないことから、業績予想を据え置く

I. 2024年3月期 第2四半期決算

II. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. トピックス

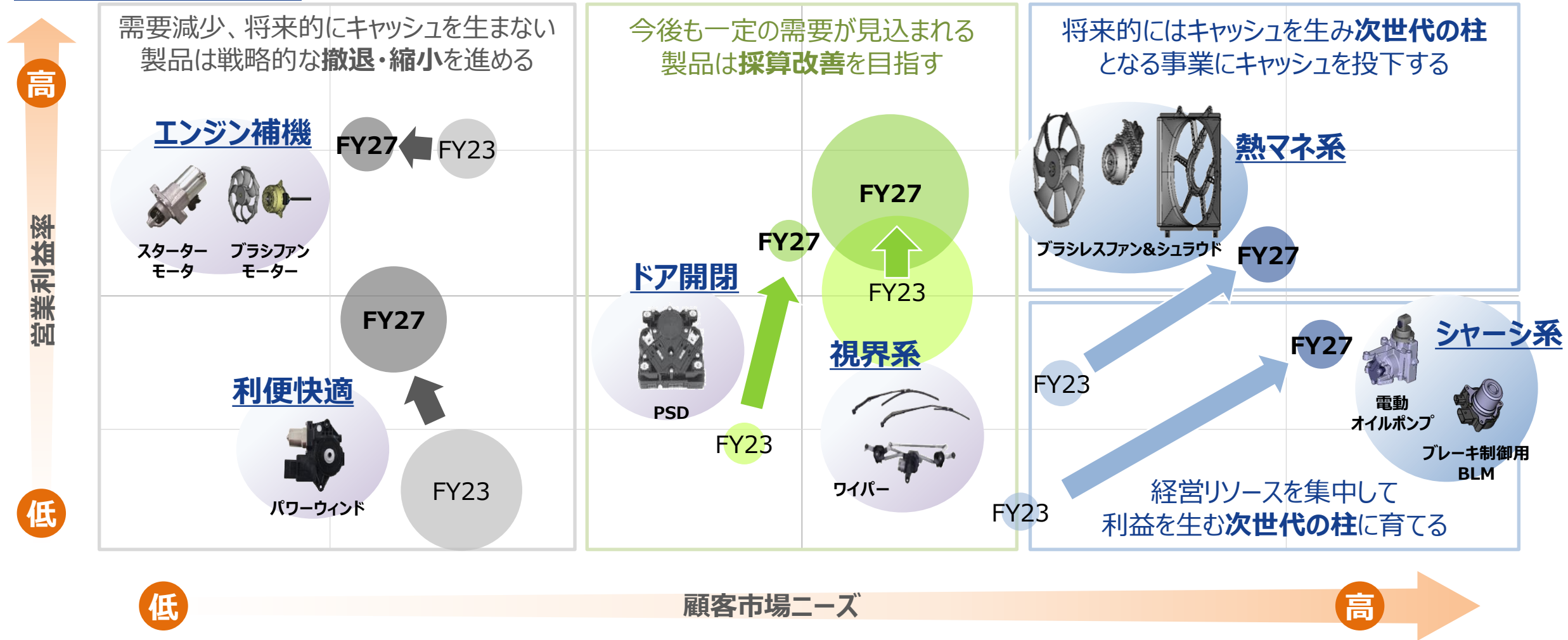
V. Appendix

- 需要減少および一定の需要が見込める製品は、少ない経営資源で稼ぎつつ、獲得したキャッシュは成長が見込める製品へ投下する。

(注) バブルの大きさ : 売上高
掲載製品は代表製品となります。

四輪市場向け

事業ポートフォリオにおける対応方針



Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 – モビリティ進化への対応

四輪市場向け

事業ポートフォリオ再編における現状認識・アクション

外部環境	機 会		脅 威	
	短期中期 (FY23~27)	長期 (FY28~)	短期中期 (FY23~27)	長期 (FY28~)
	<p>視界系／利便快適</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化による競争環境の軟化 小型軽量による優位なレイアウト性 (他社にとっては参入障壁) <p>ドア開閉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動運転等による自動開閉システムへの新規需要 <p>熱マネ系／シャーシ系</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存OEM電動車への拡販 <p>エンジン補機</p> <ul style="list-style-type: none"> ICE車減による競争環境の軟化 	<p>視界系</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化でも需要継続 <p>利便快適</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存製品の深化 (超小型径) による需要拡大 <p>ドア開閉</p> <ul style="list-style-type: none"> CASE対応による需要拡大 <p>熱マネ系／シャーシ系</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化による新用途領域の拡大 <p>エンジン補機</p> <ul style="list-style-type: none"> ラストワン戦略の見極めと収益確保 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> インフレによるコスト増加 <p>視界系</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国メーカーのシェア拡大 <p>熱マネ系／シャーシ系</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化への競合集中による価格競争の激化 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化によるコスト増加リスク 技術進化、リソース確保 等における自前化の限界
アクション	短期中期視点 (FY23~27)		長期視点 (FY28~)	
	<p>製品全域</p> <ul style="list-style-type: none"> 売価適正化、及び構造改革によるコストスリム化 <p>視界系／利便快適</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択と集中による収益が見込めるOEMへのシフト 	<p>熱マネ系／シャーシ系／ドア開閉</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化・CASE対応製品の新規開発 <p>視界系</p> <ul style="list-style-type: none"> 小型軽量な新システム上市 (近接リンクワイパー、新規ブレード) 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入コストアップ・賃金上昇 等 (売価適正化は継続交渉) 戦略的アライアンス候補の探索 中国・インドを中心とした新規顧客の開拓 	<p>エンジン補機</p> <ul style="list-style-type: none"> ICE専用製品の戦略見極め (長用化 or 撤退、生産集約 等)

Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 –モビリティ進化への対応

四輪市場向け

【ワイパー】～収益改善に向けた取り組み～

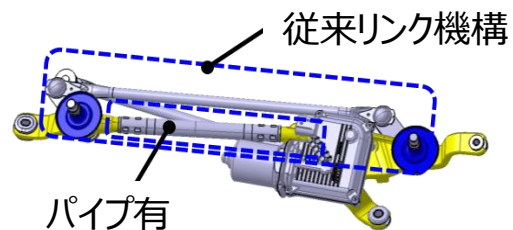
- ブラシレスモーターによる付加価値向上
 - ✓ 性能を維持しつつ希少金属を使用しないマグネットを搭載した
ブラシレス制御ワイパーモーターを **世界初** で量産開始。



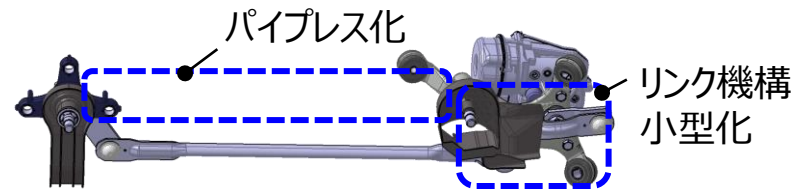
新型ACCORD

引用元: 本田技研工業株式会社
ホームページ

- リンク機構の小型化による競争力強化（近接リンクワイパーシステム）



従来のワイパーシステム



近接リンクワイパーシステム

- 上記2つの組合せにより、従来比で **軽量化▲30%** を実現！競争力向上！

Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 –モビリティ進化への対応

四輪市場向け

【ワイパー】～収益改善とデザイン性の向上～

➤ アーム・ブレードの内製率向上

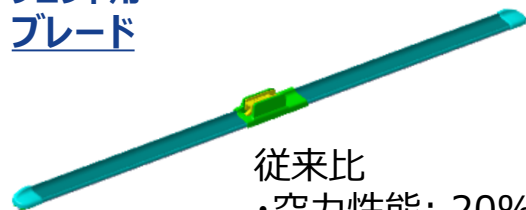
➤ ワイパーブレードの進化

✓ 更なる性能向上と
グローバルでの多様なニーズに応えるために・・・



アーム・ブレードのグローバルフットプリント

フロント用
ブレード

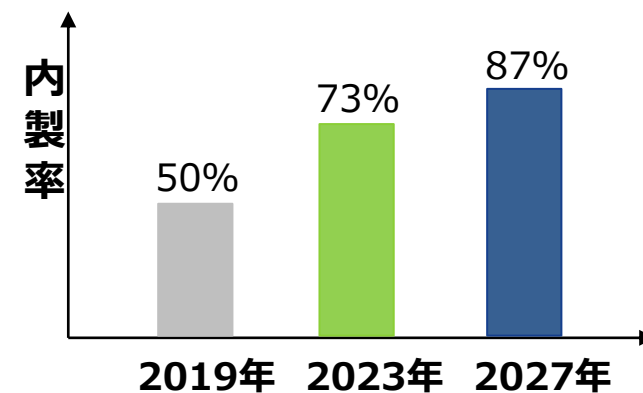


従来比
・空力性能: 20%向上
・軽量化: ▲10%

リヤ用
アーム&ブレード



従来比
・空力性能: 40%向上
・軽量化: ▲30%



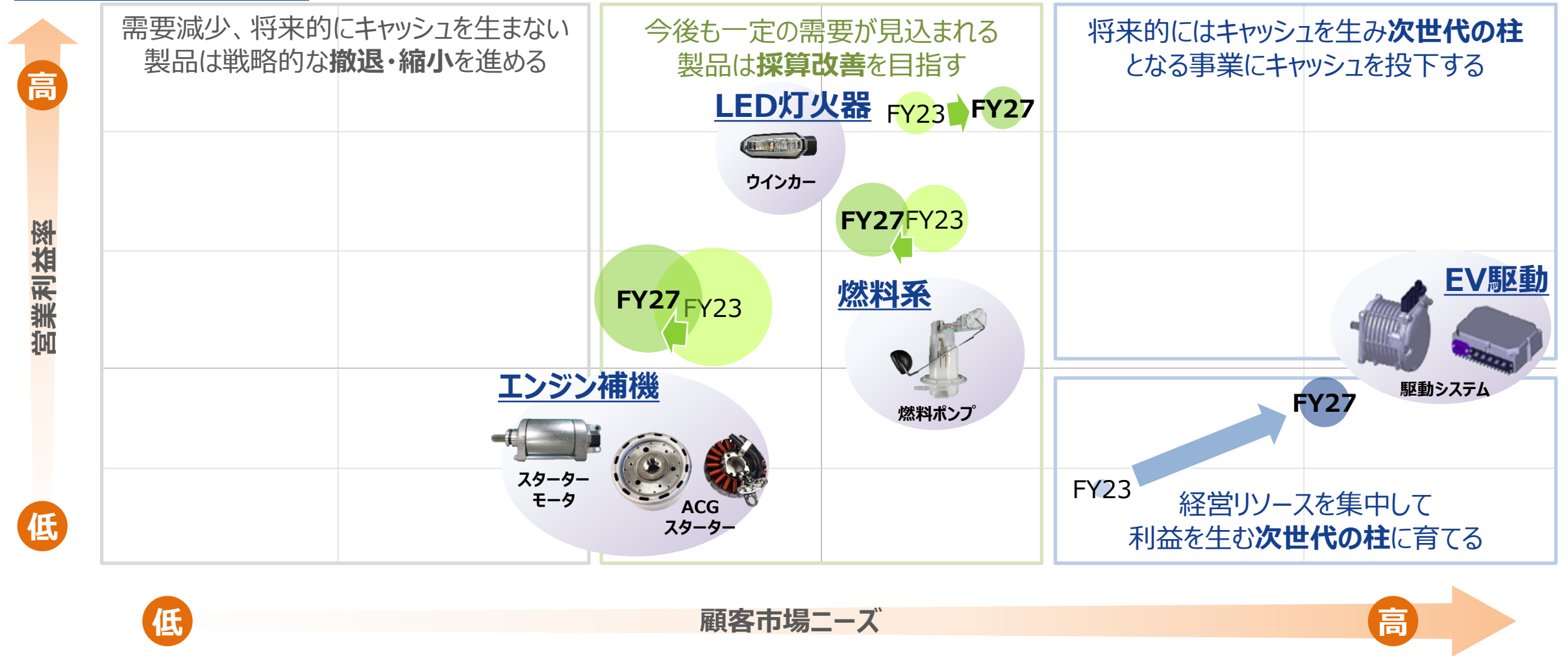
➤ ミツバ独自の特許技術「Active-CLIP」採用により 拭き性能を向上！

- 一定の需要が見込める製品は継続受注で稼ぎつつ、獲得したキャッシュは将来の利益を生む次世代製品へ集中投下する。

二輪市場向け

事業ポートフォリオにおける対応方針

(注) バブルの大きさ : 売上高
掲載製品は代表製品となります。



Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 – モビリティ進化への対応

二輪市場向け

事業ポートフォリオ再編における現状認識・アクション

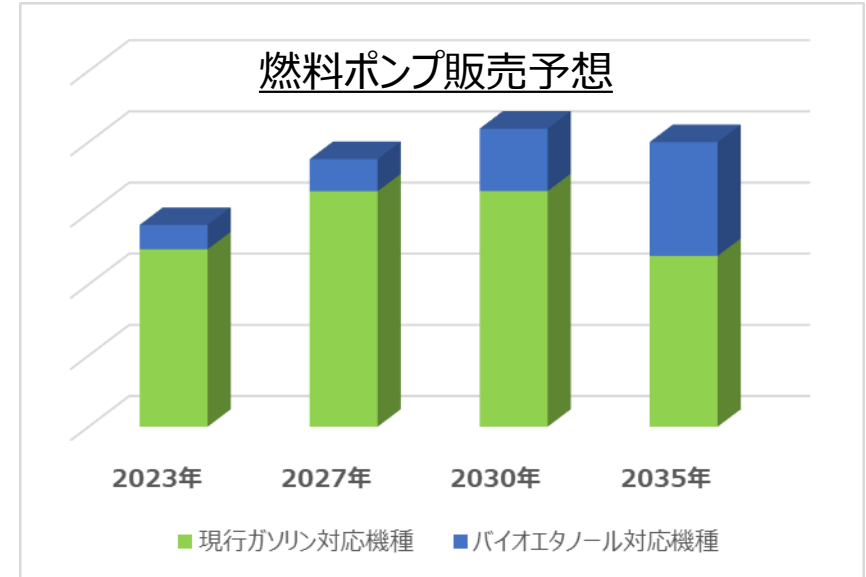
外部環境	機会		脅威	
	短期中期 (FY23~27)	長期 (FY28~)	短期中期 (FY23~27)	長期 (FY28~)
	<p>燃料系/エンジン補機</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動化による競争環境の軟化 燃料をガソリンからバイオエタノールに変更したICE車の長用化 <p>EV駆動</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要OEM、及びスタートアップの上市開始 	<p>EV駆動</p> <ul style="list-style-type: none"> 駆動モーター需要の更なる高まり <p>LED灯火器</p> <ul style="list-style-type: none"> LED化トレンドによる需要拡大 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> インフレによるコスト増加 <p>EV駆動</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要OEMの自前化 充電環境整備の遅れ 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化によるコスト増加リスク 技術進化、リソース確保 等における自前化の限界 <p>LED灯火器</p> <ul style="list-style-type: none"> 競合集中による価格競争の激化 (差別化が必要)
アクション	短期中期視点 (FY23~27)		長期視点 (FY28~)	
	<p>製品全域</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産・納入継続による残存者利益の確保 <p>LED灯火器</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にインドでの新規顧客開拓 	<p>燃料系</p> <ul style="list-style-type: none"> バイオエタノール車向け商品の開発 <p>EV駆動</p> <ul style="list-style-type: none"> オリジナル駆動システムの開発 インドスタートアップへの拡販 	<p>製品全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入コストアップ・賃金上昇 等 (売価適正化は継続交渉) <p>LED灯火器</p> <ul style="list-style-type: none"> 差別化技術開発の推進 	<p>EV駆動</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長エリア・OEMの見極めによる新規顧客開拓

Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 –モビリティ進化への対応

二輪市場向け

【バイオエタノール燃料車向け製品】

- 各国の充電環境などのインフラを考慮するとEV車への全面移行には相応の時間を要する。
- そのためEV化とは異なるカーボンニュートラルの実現方法である「バイオエタノール燃料車」も注目を集めている。
- **ミツバはブラジル市場ですでに実績があり**
それを強みとして今後のグローバル市場での拡販を進める。



バイオエタノール燃料車向け
燃料ポンプ

Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況 – モビリティ進化への対応

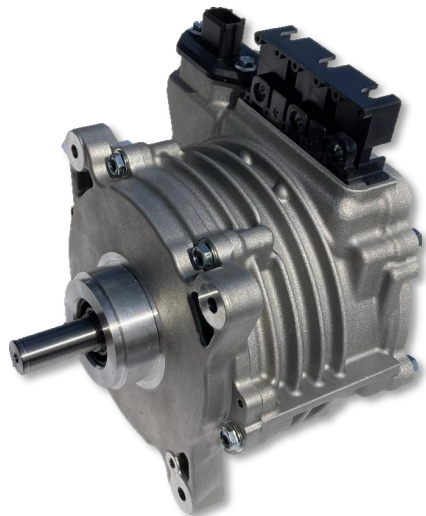
二輪市場向け

【Auto EV India 2023 へ出展】

- メインターゲット市場となるインドでのミツバオリジナルの「2輪EV駆動システム」と「LEDランプ」類の現地車両メーカーへの拡販を狙い参加。



引用元: Auto EV India 2023ホームページ



2輪EV駆動システム



LEDウインカーランプシステム



LEDライセンスランプ

I. 2024年3月期 第2四半期決算

II. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. トピックス

V. Appendix

【Ene-1 Suzuka Challenge 2023 参戦】

KV-Moto部門にて9連覇を達成！

- 同条件の充電式単三電池40本を使用し限られた時間内での走行距離を競うレースです。
- 高効率な駆動システムと高レベルなエネルギーマネジメントが勝敗の決め手となります。



KV-Moto向け駆動システム
(ダイレクトドライブタイプ)



ミツバイク (KV-Moto向け駆動システム搭載)

- ミツバイクは単三電池40本で20kmを走破。
(鈴鹿サーキット東コースを9周)
- 電費は市販されているスクーター型2輪EVに対してなんと「**約6倍**」と**超高効率**です！

【World Solar Challenge 2023 参戦】

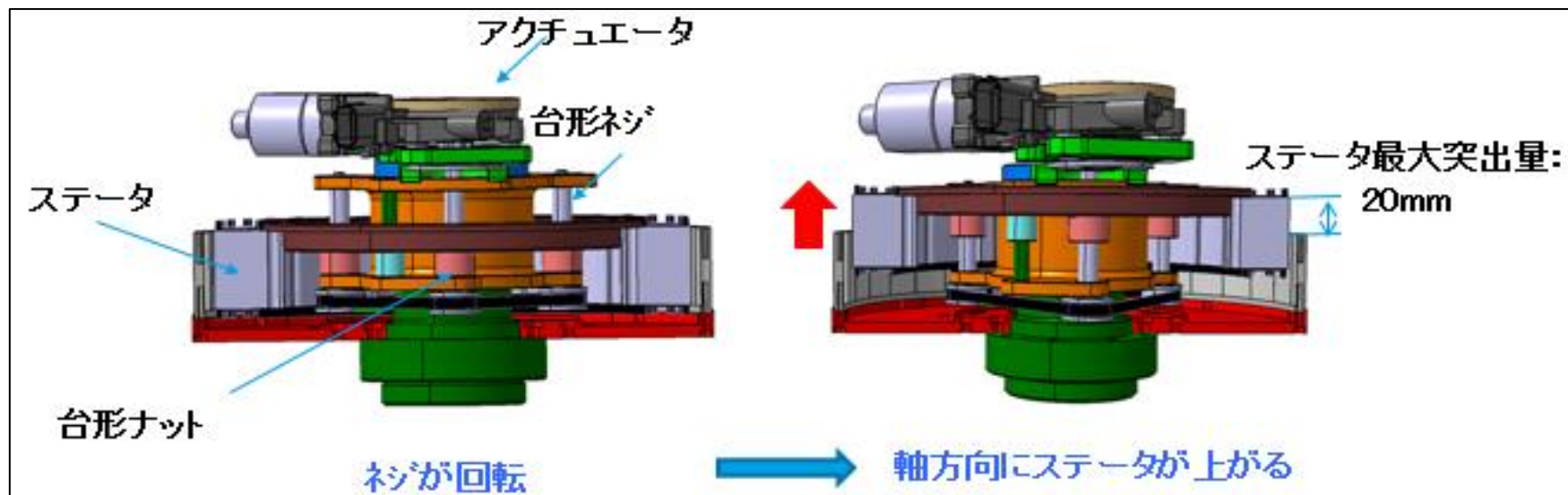
- 出場チームの半数以上(24か国)、日本より参加する5チーム全てへ「ソーラーカー駆動システム」を提供。
- このミツバ製駆動システム搭載チームの優勝回数はなんと**16戦6勝!**



「ソーラーカー駆動システム」に使われている ミツバ独自の可変界磁機構モータ



ソーラーカー駆動システム
アモルファス材や平角線を採用
・最適化し 最大効率98%



【全日本ロードレース選手権にチャレンジ開始】

- 全日本ロードレース選手権に参戦中の「Astemo Honda Dream SI Racingチーム」とのスポンサー契約を締結しました。
- このスポンサー活動を通して、ステークホルダーの皆さまと夢と感動を共有すると同時に、「チャレンジ」のシンボルとして、ミツバブランドの向上に努めてまいります。



引用元: Astemo Honda Dream SI Racingホームページ



群馬県桐生市（ミツバ本社所在地）出身の水野涼（ミズリョウ）選手

引用元: Honda Racing ホームページ

I. 2024年3月期 第2四半期決算

II. 2024年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. トピックス

V. Appendix

V. Appendix 2024年3月期第2四半期決算 (エリア別業績推移)

(単位：億円)

	23年3月期				24年3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q (A)	3Q	4Q	1Q (B)	2Q (C)	3Q	4Q		
売上高 計	668	862	840	824	790	869			101%	110%
日本	206	245	261	272	238	275			112%	116%
米州	157	187	180	206	200	221			118%	111%
欧州	52	52	55	64	64	61			117%	95%
アジア	144	188	203	174	175	195			104%	111%
中国	108	188	138	104	112	114			61%	102%
営業利益 計	▲19	23	32	31	17	52			2倍	3倍
日本	▲16	3	7	8	1	22			6倍	20倍
米州	▲0	▲5	▲4	10	▲2	2			-	-
欧州	▲1	▲0	0	▲2	▲1	0			-	-
アジア	3	15	31	10	18	24			155%	129%
中国	▲2	15	▲1	0	2	4			25%	146%

※エリア別の営業利益は、セグメント間取引調整前の金額です。

(単位：億円)

V. Appendix 2024年3月期第2四半期決算 (顧客別売上高推移)

	23年3月期				24年3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q(A)	3Q	4Q	1Q(B)	2Q(C)	3Q	4Q		
ホンダ	252	354	332	311	298	328			93%	110%
四輪	126	184	148	149	136	149			81%	110%
二輪	126	170	184	162	162	179			105%	110%
RNM	46	58	62	67	62	69			119%	111%
SUBARU	20	24	26	27	25	26			108%	104%
スズキ	21	21	20	24	24	24			114%	100%
マツダ	12	17	18	22	22	20			118%	91%
VW グループ	16	19	21	17	20	27			142%	135%
トヨタ グループ	6	7	8	8	7	8			114%	114%
TierN	185	235	224	203	211	233			99%	110%
その他	90	115	118	120	112	114			99%	102%
合計	648	850	829	799	781	849			100%	109%

※RNM：ルノー、日産自動車、三菱自動車

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません

V. Appendix 2024年3月期第2四半期決算（事業別売上高推移）

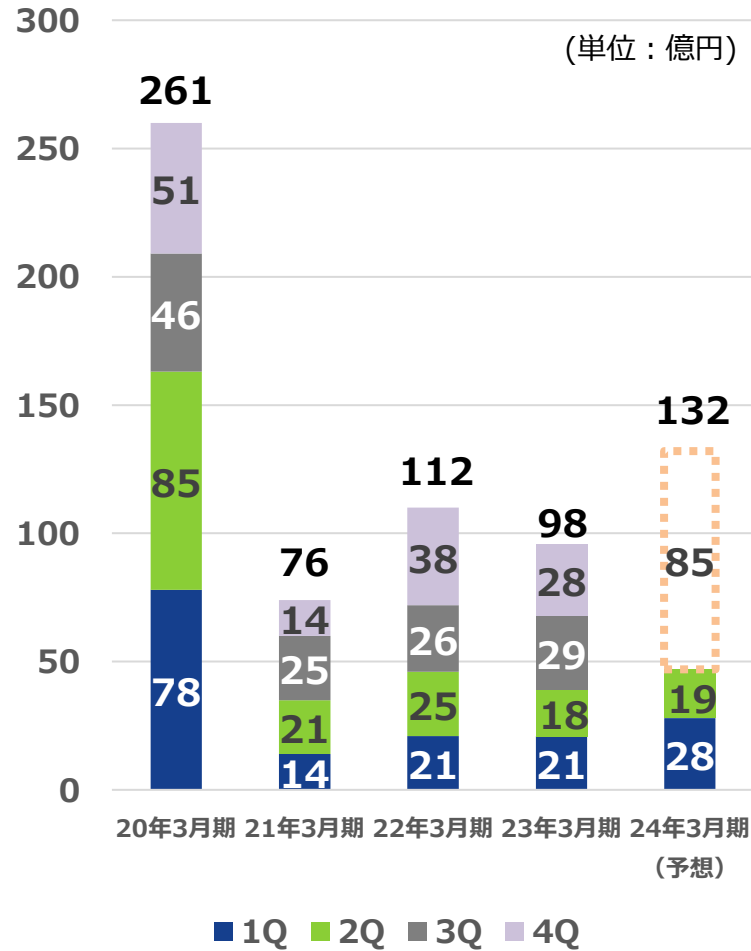
（単位：億円）

	23年3月期				24年3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q (A)	3Q	4Q	1Q (B)	2Q (C)	3Q	4Q		
四輪	401	530	493	501	473	514			97%	109%
二輪	168	218	233	211	213	230			106%	108%
電動化ソリューション	78	102	103	86	95	105			103%	111%
合計	648	850	829	799	781	849			100%	109%

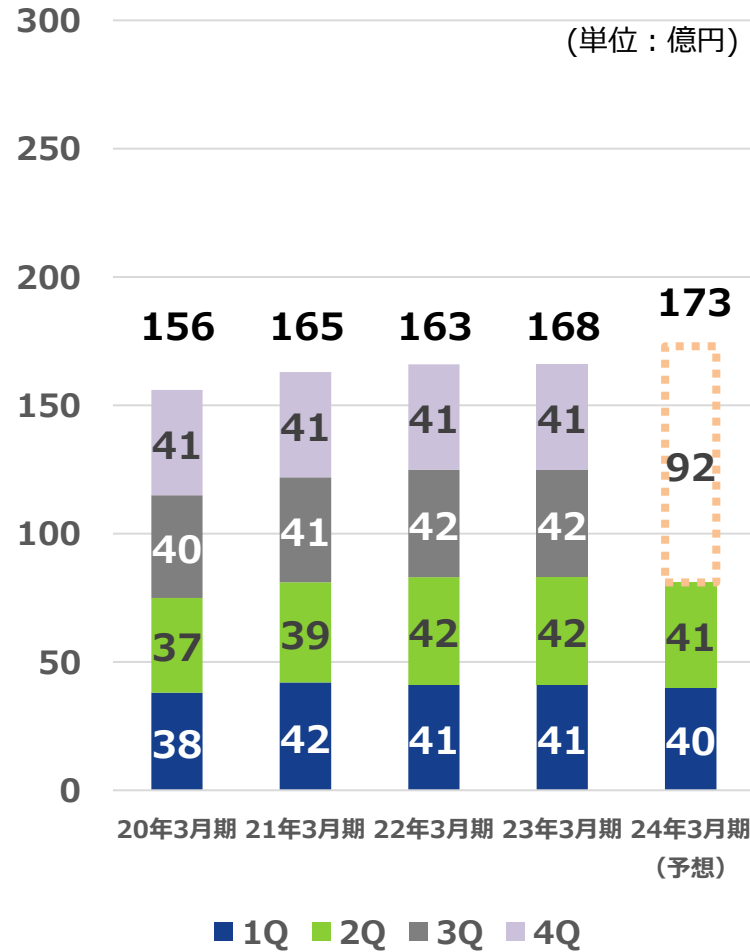
※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致しておりません

V. Appendix 2024年3月期 (設備投資、減価償却費、研究開発費)

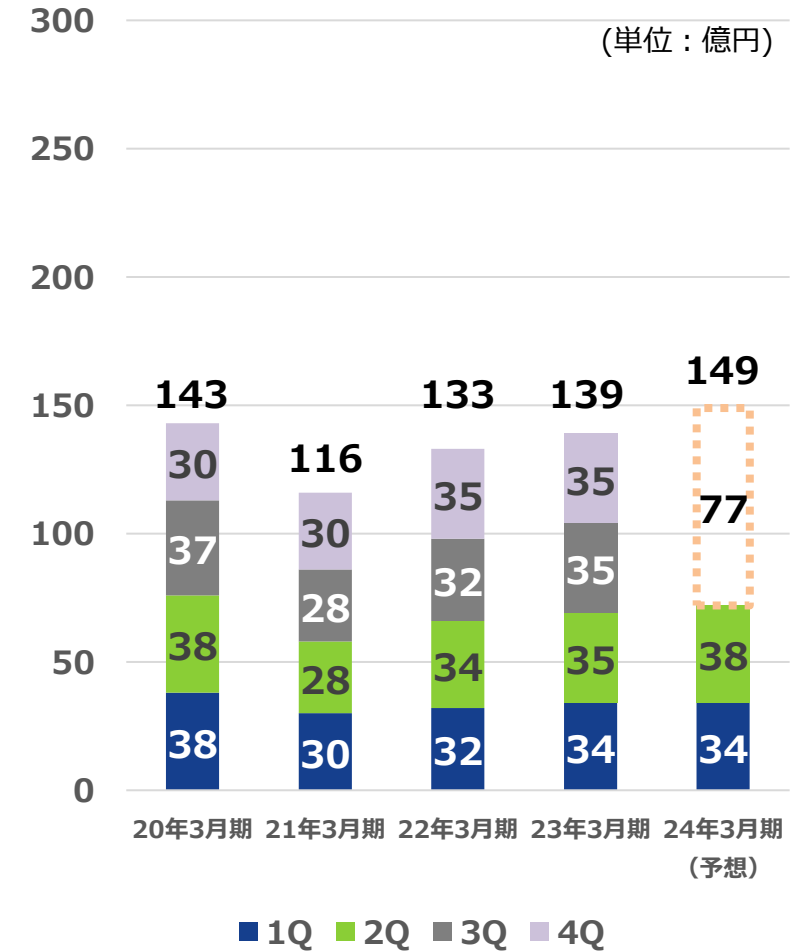
設備投資



減価償却費

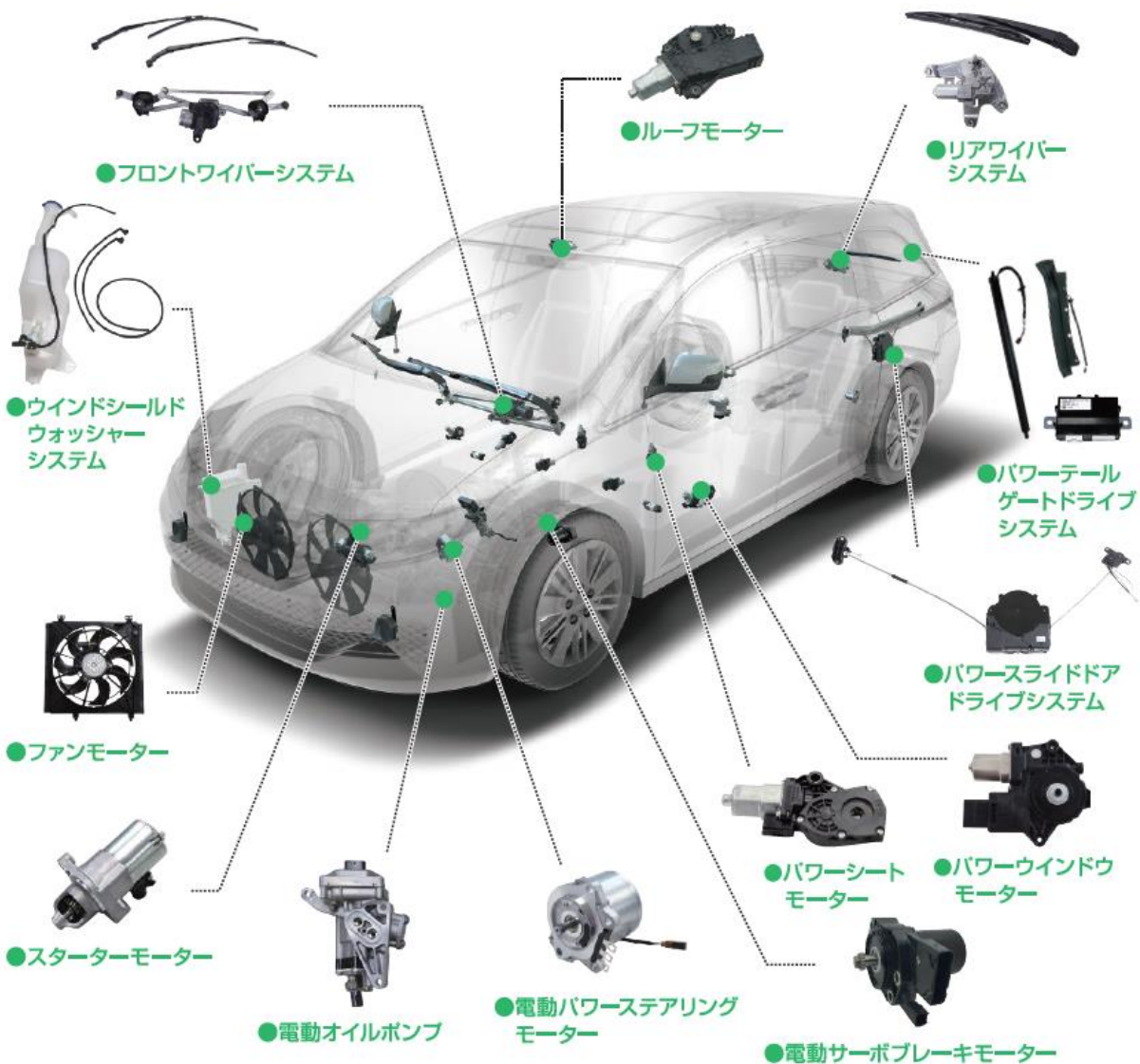


研究開発費

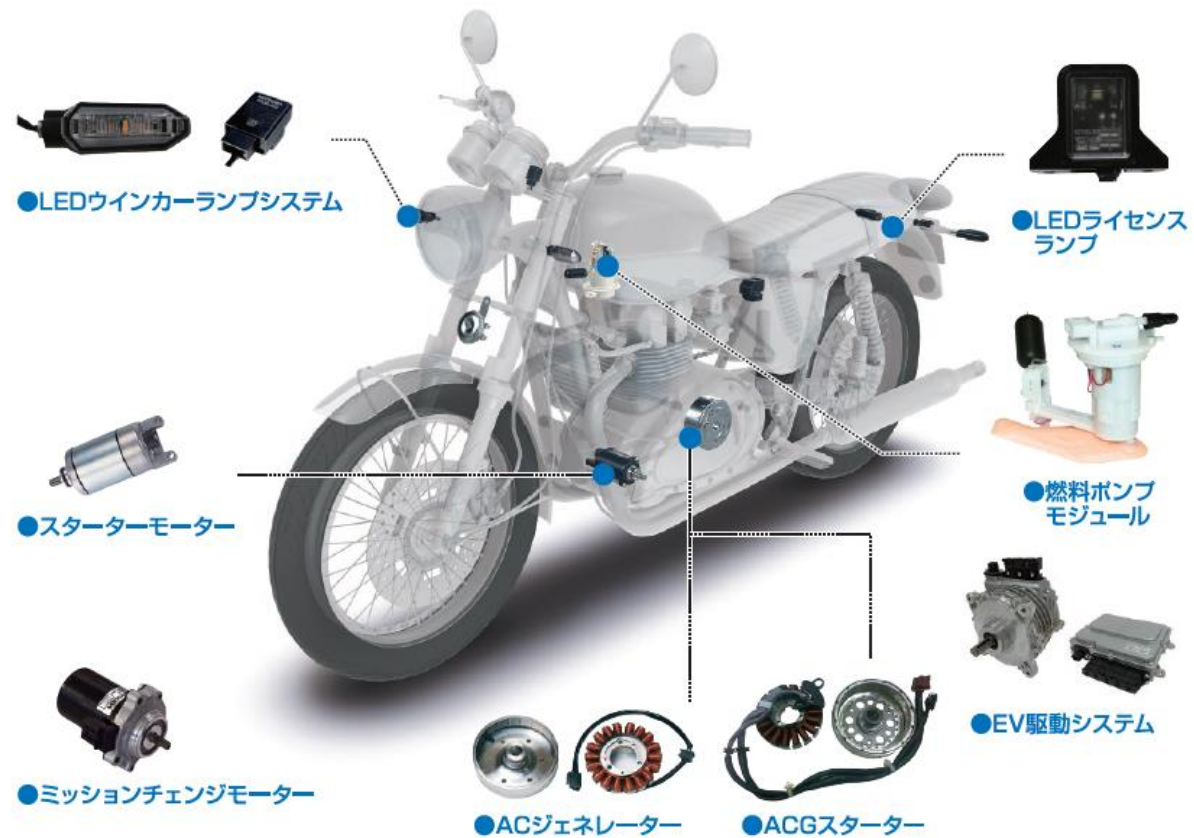


V. Appendix 製品紹介

四輪電装製品



二輪電装製品



小型モビリティ製品



V. Appendix バーチャル製品展示特設サイトのご紹介

[バーチャル製品展示ページ | 株式会社ミツバ \(https://www.mitsuba.co.jp/vpep/\)](https://www.mitsuba.co.jp/vpep/)



ご注意

本資料には、当社グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。

そのため、今後、経済情勢や景気動向、法令規制の変化その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性がある事にご留意下さい。

本資料は、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。



~ End of Presentation ~